

【喫茶サービス競技 A 講評】

【課題の概要】

模擬的に設置された喫茶店でお客様の立場に立って正確かつスムーズに商品を提供する技術を競います。

午前中は、「規定競技」として、選手一人につき、模擬客1～2名の接客を行い、午後は、「自由競技」として、選手2～3名を1グループとして模擬客30名程度の接客を行いました。

【当日の選手全体の良かった点】

どの参加選手も、大会に備えてよく練習を積み、ひとつひとつの基本的な作業はもちろん、グループ内の連携もよくとれており、毎年レベルアップしているように感じました。

【当日の選手全体の直すべき点（減点が多かった点）】

模擬店での接客に気を抜く時間はありません。

サーバーからの商品待ちの時間に、完全にゲストに背を向けた状態にいる選手が多く見受けられ、ゲストの来店・退店に気づかない場面がありました。商品待ちの間でも、顔だけでもゲストの方に向けて、その動向に気を配ることが大切です。

【次回の当該競技への参加を考えている人が気をつけるべき点】

第一印象はとても重要です。

手順に沿った基本的な作業が出来るようになることはもちろんですが、お客様がお店に入ったときに、心地よく感じるよく通る声と自然な笑顔を意識してトレーニングしてみてください。

